

政務活動報告書

会 派 名 日本共産党

年 月 日	2025 年 1 月 9 日				
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	衆議院第一議員会館(東京都千代田区) 弘前駅～新青森駅～東京～霞ヶ関～東京～新青森～弘前 電車、新幹線移動にて				
相手方 (会議名等)	国土交通省 鉄道サービス政策室 渡辺輸送障害対策推進官、物流・自動車局旅客課 稲田修専門官、 環境安全・防災課道路防災対策室 佐々木靖課長補佐、 内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(被災者生活再建担当)付 新野修士災害救助第1担当主査、 総務省 自治財政局財政課 畑中雄貴理事官、 文化庁 文化資源活用課 山本直也文化財防災専門官、西山和宏主任文化財調査官				
参加議員名	千葉浩規、須藤江利加				
活動の概要	別紙のとおり				
	※会議・研修資料等があれば、添付してください。				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額		領収書番号	支払証明書番号
	旅費	67,720	円	4	
	旅費	540	円	5	
			円		
			円		
			円		
			円		
	合計額	68,260	円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり				

行政視察報告書(政務活動費)

1 日 程 令和7年1月9日

2 視 察 先 衆議院第一議員会館

3 項 目

(1) 国に対する「今冬の大雪対策についての申し入れ」文書の提出

【国土交通省】

鉄道サービス政策室	渡辺	輸送障害対策推進官
物流・自動車局旅客課	稲田 修	専門官
環境安全・防災課 道路防災対策室	佐々木 靖	課長補佐

【内閣府】

政策統括官（防災担当）付 参事官（被災者生活再建担当）付
新野 修士 災害救助第1担当主査

【総務省】

自治財政局財政課 畑中 雄貴 理事官

(2) 文化庁レクチャー

【文化庁】

文化資源活用課	山本 直也	文化財防災専門官
文化資源活用課	西山 和宏	主任文化財調査官

4 同行議員 (会派日本共産党)

千葉 浩規、須藤江利加

5 概 要

(1) 国に対する「今冬の大雪対策についての申し入れ」文書の提出

午後1時30分より30分間

12月の積雪深が、12月としては歴代1位の84cmに達し、さらに、1月としては観測史上最高の積雪深が115cmに達しました。こうしたなかで、弘前市も「豪雪対策本部」を設置し、緊急体制に移行。4日に道路除排雪費5億円を追加した補正予算の専決処分が行われました。今後、更なる積雪が予想される中で、基幹道路については全線確保と歩道がない幹線道路については速やかな排雪、生活道路については市民の要望に応え、日常生活や救急搬送に

影響がないような対策を実施するうえで国からの支援が必要と考え、日本共産党青森県委員会、同青森県議会議員団、同青森市議会議員団との連名で国に対する申し入れを行いました。

申し入れの中で、千葉浩規市議は準備した写真を示しながら、今回の年末年始の積雪による道路事情の悪化について説明、「写真で説明した道路はバス路線の基幹・準基幹や通学路。生活道路となるとさらに現状は厳しい。また、今回紹介した道路については、小中学校が始まる前までには排雪が行われると思うが、その後の降雪で除排雪を繰り返すことが必要で、そのためにも『臨時特例措置による除排雪経費補助』と『特別交付税の前倒し』をお願いしたい」と、訴えました。

総務省自治財政局財政課の畑中雄貴・理事官は、「昨日も弘前市長さんが総務大臣とお会いしており、今日もお話を伺ったので、財政的に困らないように対処したい」と答えました。また、準備した資料については、政府対応者に手渡しました。

(2) 文化庁レクチャー

午後2時より30分間 京都の文化庁とのウェブを介してのレクチャー

今冬の大雪による弘前公園の倒木被害や文化財への被害も深刻と考え、文化庁のレクチャーを受ける機会を設けていただきました。文化庁からは、弘前市から報告を受けている範囲で、弘前公園内の国重要文化財「二の丸末申櫓」と「二の丸東門」（東内門）の屋根の状況についての説明が有りました。

千葉浩規市議は、弘前城石垣積直し工事が終了し、来年度から天守基礎耐震補強工事が始まることについて文化庁の支援に感謝を申し上げたうえで、「令和8年度に工事は終了し、年度内に天守引き戻し、元の場所に戻る。これは、大鰐線の問題、中三の問題と続く中で、弘前市民にとっては大きな希望につながる。そこで、今回の大雪の被害を受けた文化財について、令和8年までに修復できないか。支援をお願いしたい」と要望しました。

文化庁の対応者は、補助事業となると指摘したうえで、「出来るだけ早めに現地にまいり、状況を確認しながら、こういったスケジュールで復旧していくか市・県と相談しながら進めていく」と、しました。さらに、「天守が戻るまで」という時期について、「約束はできないが、市の方で、そのようなスケジュール感でやりたいというのであれば、文化庁としては最大限の支援をして行きたい。まずは市の方で意思を固めていただきたい」と、答えました。

行政視察報告書(政務活動費)

1 日 程 令和7年1月9日

2 視 察 先 衆議院第一議員会館

3 項 目

(1) 国に対する「今冬の大雪対策についての申し入れ」文書の提出

【国土交通省】

鉄道サービス政策室	渡辺	輸送障害対策推進官
物流・自動車局旅客課	稲田 修	専門官
環境安全・防災課 道路防災対策室	佐々木 靖	課長補佐

【内閣府】

政策統括官(防災担当)付 参事官(被災者生活再建担当)付
新野 修士 災害救助第1担当主査

【総務省】

自治財政局財政課 畑中 雄貴 理事官

(2) 文化庁レクチャー

【文化庁】

文化資源活用課	山本 直也	文化財防災専門官
文化資源活用課	西山 和宏	主任文化財調査官

4 同行議員 (会派日本共産党)

千葉 浩規、須藤江利加

5 概 要

(1) 国に対する「今冬の大雪対策についての申し入れ」文書の提出

午後1時30分より30分間

12月の積雪深が、12月としては歴代1位の84cmに達し、さらに、1月としては観測史上最高の積雪深が115cmに達しました。こうしたなかで、弘前市も「豪雪対策本部」を設置し、緊急体制に移行。4日に道路除排雪費5億円を追加した補正予算の専決処分が行われました。今後、更なる積雪が予想される中で、基幹道路については全線確保と歩道がない幹線道路については速やかな排雪、生活道路については市民の要望に応え、日常生活や救急搬送に

影響がないような対策を実施しするうえで国からの支援が必要と考え、日本共産党青森県委員会、同青森県議会議員団、同青森市議会議員団との連名で国に対する申し入れを行いました。

須藤江利加市議は写真を示しながら、「弘前市内では、生活道路への除排雪がゆき届いていない場所が多くある。空き家が増加している為、町内で屋根に雪が積もり凹んでいる危険な所がある。空き家の場合、道路に面していると、屋根からの雪が道をふさぎ通れなくなってしまう。また、弘前市は高齢化が進むと同時に、身寄りのない高齢者も増加傾向にある為、玄関前が雪に埋もれてしまい、外に出れなくなる事例もある。要配慮者等に対する国の支援強化を求める」と、訴えました。

総務省自治財政局財政課の畑中雄貴・理事官は、「昨日も弘前市長さんが総務大臣とお会いしており、今日もお話を伺ったので、財政的に困らないように対処したい」と答えました。また、準備した資料については、政府対応者に手渡しました。

(2) 文化庁レクチャー

午後2時より30分間 京都の文化庁とのウェブを介してのレクチャー

今冬の大雪による弘前公園の倒木被害や文化財への被害も深刻と考え、文化庁のレクチャーを受ける機会を設けていただきました。文化庁からは、弘前市から報告を受けている範囲で、弘前公園内の国重要文化財「二の丸末申櫓」と「二の丸東門」（東内門）の屋根の状況についての説明が有りました。

国土交通大臣 中野洋昌 様
内閣府防災担当大臣 坂井学 様
総務大臣 村上誠一郎 様

日本共産党青森県委員会
日本共産党青森県議会議員団
日本共産党青森市議会議員団
日本共産党弘前市議会議員団

今冬の大雪対策についての申し入れ

年末年始に直撃した大雪は、帰省客や仕事初めの交通の足を大混乱させ、日常生活にも著しい影響を与えています。青森県は 12 年ぶりに豪雪災害対策本部を設置、宮下宗一郎県知事は「災害級」の大雪と発言しました。

一時期 139 cm まであった青森の積雪は 6 日に気温が上がって 110 cm に、弘前でも 90 cm まで下がりました。しかし最大の問題は、排雪がおいつかず、幹線道路でも片側 2 車線が 1 車線になってしまっているため、大渋滞になっていることです。

生活道路、始業式を控えた児童たちの通学路の確保が急がれます。黒石市で出動した救急車が擦れ違えず、待機して停車した自動車に衝突するなどの事故が起きています。屋根の雪下ろしなど除雪中の死亡事故が 7 日までに 4 件。特に十和田市では、命綱とヘルメットをつけていたのに一人だったため屋根から落ちて宙ぶり状態になったまま、発見が遅れ死亡に至るとい痛ましい事案でした。安全対策を呼び掛けていても、人手不足の中、業者も福祉部門も手一杯となっています。

こうしたことから、以下、政府の特段の対応を申し入れるものです。

記

【国土交通省】

- 1, 幹線道路の排雪の遅れが道路を狭め、大渋滞を引き起こしている。国道は当然だが、県管理国道、県道についても現場の状況を踏まえ、国による代行措置や市道の排雪も含め万全を期すこと。
- 2, 帰省客で通常以上に混雑する駅が、周辺の除雪が悪く、そこへ行く道路も大渋滞しているため重大な支障があった。在来線の運休やバスの乱れ、タクシー不在などターミナル機能がマヒしており、観光客にも影響を与えた。運行状況の周知もふくめ関係団体との連携や JR への指導を強めること。
- 3, 県に対する補助となる雪寒指定道路については、国の補助率（2/3）を確実に担保すること。
- 4, 生活道路の除排雪の徹底のため、県に対する補助の追加を検討するとともに、市町村に対する臨時特例措置による除排雪経費補助をすみやかにおこなうこと。

【内閣府】

- 1, 災害救助法による救助については、要配慮者世帯など自力で屋根の雪おろしや除排雪などが困難な世帯に対する援助を徹底すること。

【総務省】

- 1, 除排雪予算の不足や弘前市の「地域除排雪活動支援事業」のような独自支援策に自治体がとりくめるよう、特別交付税の前倒しや十分な手当を行うこと。

以上

令和7年1月9日

「今冬の大雪対策についての申し入れ」の際の写真

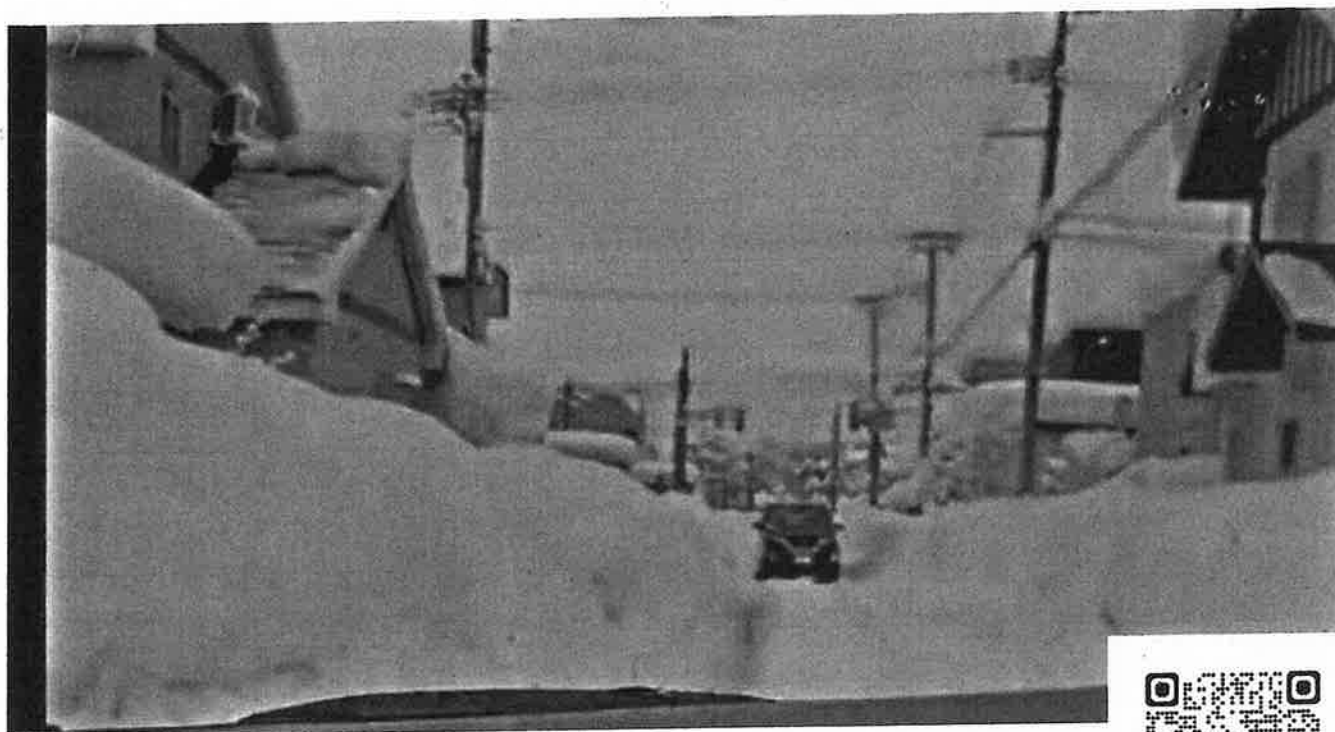
会派 日本共産党 千葉浩規



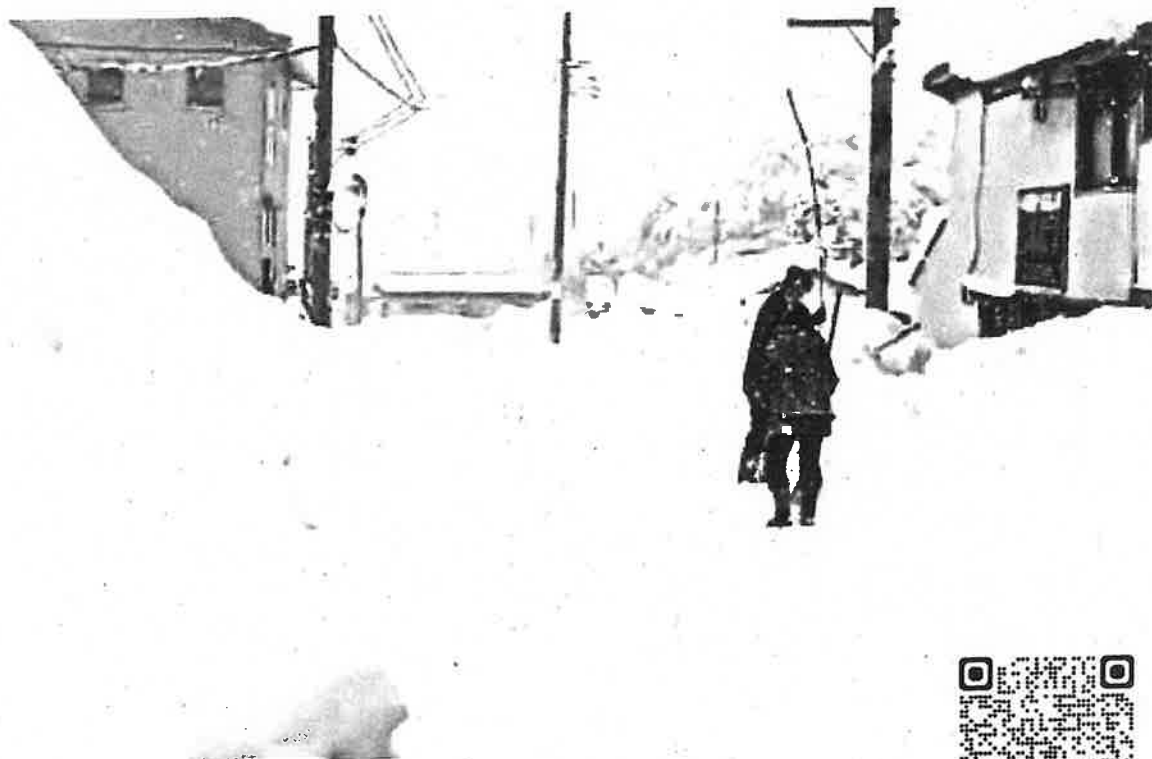
令和7年1月9日

「今冬の大雪対策についての申し入れ」に係る資料 N01

弘前市議会議員 千葉浩規からの提供



弘前市安原付近のバス路線 撮影：令和7年1月4日弘前市内



弘前市城東5丁目付近の通学路 撮影：令和7年1月4日



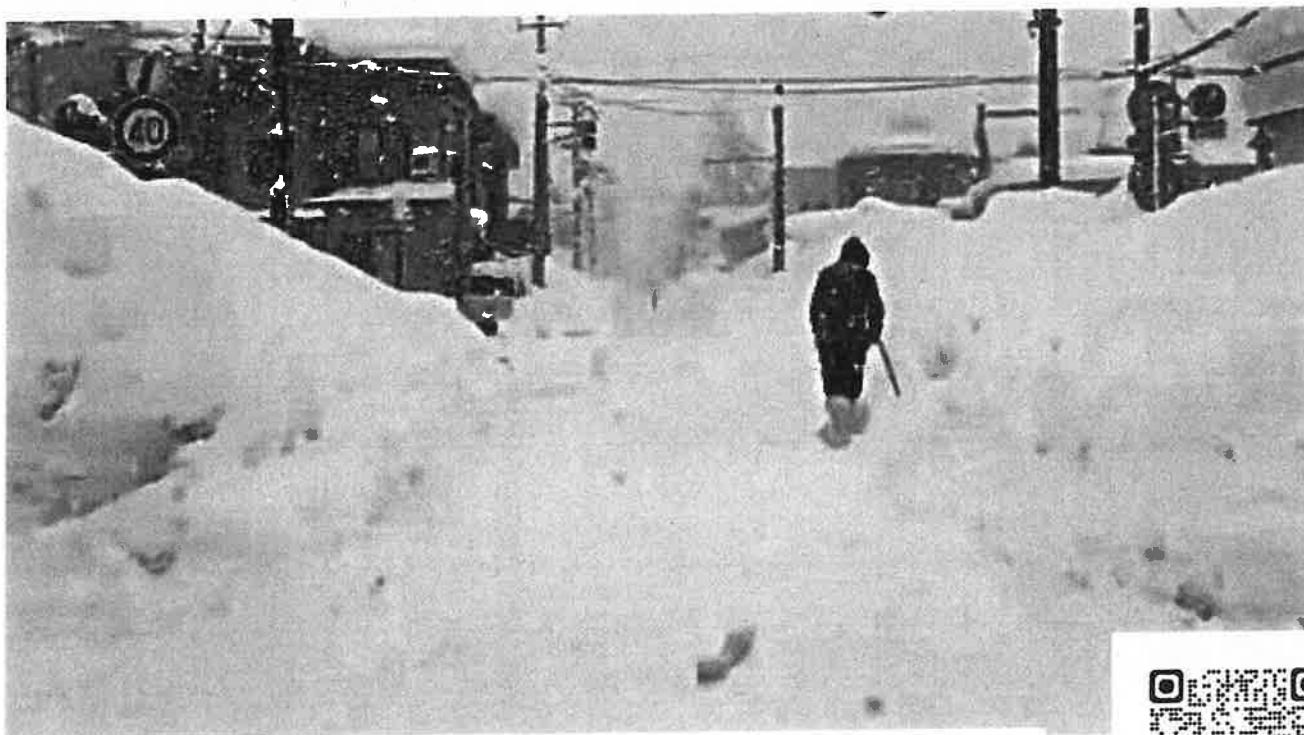
令和7年1月9日

「今冬の大雪対策についての申し入れ」に係る資料 N02

弘前市議会議員 千葉浩規からの提供



弘前市川先3丁目付近のバス路線道路 撮影:令和7年1月3日



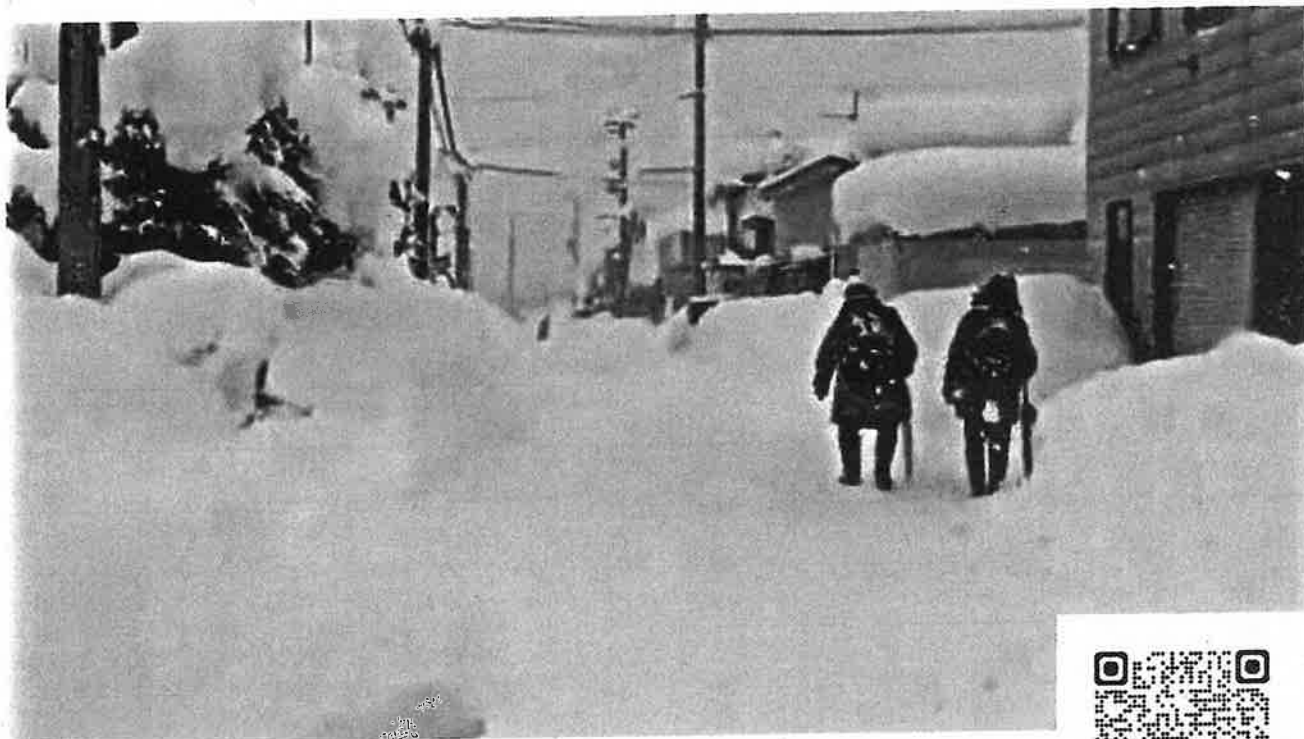
弘前市川先3丁目付近のバス路線道路 撮影:令和7年1月4日



令和7年1月9日

「今冬の大雪対策についての申し入れ」に係る資料 N03

弘前市議会議員 千葉浩規からの提供



弘前市城東5丁目付近の通学路 撮影：令和7年1月4日



拡幅除雪後の弘前市城東5丁目付近の通学路

撮影：令和7年1月7日



令和7年1月9日

「今冬の大雪対策についての申し入れ」に係る資料

弘前市議会議員 須藤江利加からの提供

時敏学区周辺





国土交通省
物流・自動車局旅客課

専門官

稲田 修

INADA Shu

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

Tel :03-5253-8111 (内線 41213)

:03-5253-8569 (直通)

Fax:03-5253-1636

E-mail: [REDACTED]

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



国土交通省 道路局

環境安全・防災課 道路防災対策室

課長補佐

佐々木 靖

SASAKI

Yasushi

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

Tel :03-5253-8111 (内線 38-282)

:03-5253-8489 (直通)

Fax :03-5253-1622

E-mail: [REDACTED]

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



内閣府

内閣府 政策統括官 (防災担当) 付

参事官 (被災者生活再建担当) 付

災害救助第1担当主査

新野 修士

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1

中央合同庁舎 8号館 3階

代表 03-5253-2111 内線 51277

直通 03-3503-9394 FAX 03-3502-6034

E-mail: [REDACTED]



総務省

理事官

畑

中

雄

貴

総務省自治財政局財政課

〒100-8926
東京都千代田区霞が関二丁目一番二号
代表電話 〇三―五二五三―五一一一
(内線二二二五)
直通電話 〇三―五二五三―五六一三
E-mail: [REDACTED]